

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
春木座略評 〔明治16・1春木座〕	劇評	六二連		『俳優評判記』	第十九編	明治16年1月
春木座略評 〔明治16・1春木座〕	劇評	六二連		『六二連 俳優評判記 中』		平成16年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・9
『毛谷村六助実記』	実説	月之舎秋里／ 編		『毛谷村六助実記』		明治20年2月 上田屋
市村座略評 〔明治22・1市村座〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		歌舞伎新報	第九百八十四号 ～第九百八十六 号	明治22年1月 歌舞伎新報社
市村座略評 〔明治22・1市村座〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞 伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
浅草座の子供芝居 〔明治30・8浅草座〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
劇と音声〔尺八〕	随筆	久保田米僊／ 談話		歌舞伎（第一次）	第24号	明治35年5月 歌舞伎発行所
毛谷村〔お園〕	芸談	山岸荷葉／編	《5》尾上菊五郎／述	『五世尾上菊五郎』		明治36年3月 文学堂 ※『歌舞伎俳優列伝集 近世 文芸研究叢書 第2期（芸能 編）11』（平成9年4月、クレ ス出版）に復刻収録。
女形の心得	芸談		市川九女八	歌舞伎（第一次）	第84号	明治40年4月 歌舞伎発行所
宮戸座の昼夜 〔明治41・9宮戸座〕	劇評	鈴木春浦		歌舞伎（第一次）	第99号	明治41年10月 歌舞伎発行所
毛谷村六助	芸談		《3》中村歌六	演芸画報	明治41・10	演芸画報社
劇道虎の巻 6〔お園〕	解説	清九郎		演芸画報	明治43・7	演芸画報社
横浜の源之助劇 〔明治43・7横浜喜楽座〕	劇評	長谷川芋作		歌舞伎（第一次）	第123号	明治43年9月 歌舞伎発行所
演芸日誌〔彦山の型〕	型	大愚堂清潭		演芸画報	明治43・9	演芸画報社
蓬萊座の若手揃ひ 〔明治44・3蓬萊座〕	劇評	寿山生		歌舞伎（第一次）	第131号	明治44年5月 歌舞伎発行所
二月の横浜 〔明治45・2横浜喜楽座〕	劇評	山野生		歌舞伎（第一次）	第141号	明治45年3月 歌舞伎発行所
市村座の弥生狂言 〔明治45・3市村座〕	劇評	森ほのほ		歌舞伎（第一次）	第142号	明治45年4月 歌舞伎発行所
菊五郎と吉右衛門 〔明治45・3市村座〕	劇評	青々園		歌舞伎（第一次）	第142号	明治45年4月 歌舞伎発行所
演伎座の「毛谷村」 〔大正2・2演伎座〕	劇評	柳波子		歌舞伎（第一次）	第153号	大正2年3月 歌舞伎発行所
「豊臣鎮西軍記」	実説			『通俗日本全史』	第二十巻	大正2年12月 早稲田大学出版部

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
彦山権現誓助剣 [大正5・1帝国劇場]	見たまま	鈍太郎	お園（《6》梅幸）六助 （《7》幸四郎）	演芸画報	大正5・2	演芸倶楽部
善いも悪いも所謂珍型 お園の鬚は勝山	型	杉廣阿弥		演芸画報	大正5・11	演芸倶楽部
善いも悪いも所謂珍型 お園に忍び二人〔立廻り〕	型	杉廣阿弥		演芸画報	大正5・12	演芸倶楽部
「毛谷村六助」の型	芸談 型	大橋秀花	《1》中村吉右衛門	揚幕	大正8・3	揚幕発行所
「毛谷村」に就いて [大正8・2市村座]	劇評	三宅周太郎		演芸画報	大正8・3	演芸倶楽部
「彦山権現」の劇 [大正8・2市村座]	劇評	伊原青々園		演芸画報	大正8・3	演芸倶楽部
市村座の一番目 [大正8・2市村座]	劇評	池田大伍		演芸画報	大正8・3	演芸倶楽部
「彦山」の「瓢箪棚」 [大正12・1本郷座]	劇評	三宅周太郎		『演劇評話』		昭和3年3月 新潮社
春狂言十種〔彦山権現誓助剣〕	随筆	井手蕉雨		演芸画報	大正14・1	演芸画報社
毛谷村六助	解説	飯塚友一郎		『歌舞伎細見』		大正15年10月 第一書房
青岳夜話 5 彦旦那の毛谷村のお園	芸談	《4》沢村源 之助	《5》坂東彦三郎	演芸画報	昭和2・3	演芸画報社
「毛谷村」問答	型	川尻清潭	《2》実川延若	道頓堀	昭和2・4	演芸画報社
三月歌舞伎芝居展望〔六助〕	芸談		《4》片岡我当	演芸画報	昭和9・4	演芸画報社
青年歌舞伎劇見物 [昭和9・3新宿新歌舞伎座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和9・4	演芸画報社
歌舞伎劇のクライマックス（毛谷村）	解説	久保琴舟		演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
新宿歌舞伎座を観る [昭和10・4新宿歌舞伎座]	劇評	小池孝子		演芸画報	昭和10・5	演芸画報社
〔毛谷村 お園〕	芸談	木村富子	《5》坂東彦三郎	『花影流水』		昭和12年4月 中央演劇社
五月の中座見物 [昭和13・5大阪中村座]	劇評	安部豊		演芸画報	昭和13・6	演芸画報社
〔毛谷村〕	芸談	河竹繁俊／校 註	《4》市川九蔵	『七世市川団蔵』		昭和17年10月 石原求竜堂 昭和41年12月 求竜堂
毛谷村と夏祭	芸談		《2》実川延若	観照	第10号	昭和22年9月 観照社
東京都劇場だより [昭和22・10三越劇場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和22・11	和敬書店
時代狂言の研究と鑑賞 毛谷村	鑑賞	戸板康二		演劇界	昭和22・12	日本演劇社
「毛谷村のお園」の型	型	金沢康隆	《7》大谷友右衛門	歌舞妓	創刊号	昭和24年1月 芸苑社
喜劇・喜劇・喜劇 [昭和24・1東京劇場]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和24・2	日本演劇社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
彦山権現誓助剣	鑑賞	戸板康二		『丸本歌舞伎』		昭和24年3月 和敬書店
猿之助の衰退 [昭和24・4大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		幕間	昭和24・5	和敬書店
女形不足の関西歌舞伎 [昭和25・3名古屋御園座]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和25・4	和敬書店
「毛谷村」その他 [昭和27・5歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和27・6	演劇新社
幕間随想 お園と玉鬘	芸談		《7》尾上梅幸	幕間	昭和27・6	和敬書店
文楽一夕話 気のよい浄るり「毛谷村」	芸談		《8》竹本綱大夫	幕間	昭和27・6	和敬書店
見直した「源氏物語」 [昭和27・5歌舞伎座]	劇評	本山荻舟		幕間	昭和27・6	和敬書店
悲劇の女性ふたり [昭和28・1歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和28・2	演劇出版社
盛沢山で食傷気味 [昭和28・1歌舞伎座]	劇評	大木豊		幕間	昭和28・2	和敬書店
孝行と喧嘩 [昭和30・1新橋演舞場]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和30・2	演劇出版社
停滞の空気 [昭和30・1新橋演舞場]	劇評	加賀山直三		劇評	昭和30・2	「劇評」社
坂崎、与三、辰五郎 [昭和30・1新橋演舞場]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和30・2	和敬書店
毛谷村	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和30・3	演劇出版社
「毛谷村」の六助	芸談		《3》市川段四郎	演劇界	昭和31・5	演劇出版社
お園	芸談		《5》片岡我童	演劇界	昭和31・5	演劇出版社
引窓、毛谷村他 [昭和31・4東横ホール]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和31・5	演劇出版社
座頭のいない芝居 [昭和31・4大阪中座]	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和31・5	演劇出版社
東横中年歌舞伎 [昭和31・4東横ホール]	劇評	加賀山直三		劇評	昭和31・5	「劇評」社
幕間随想 六助の苦しさ	芸談		《3》市川段四郎	幕間	昭和31・5	和敬書店
幕間随想 毛谷村	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和31・5	和敬書店
中車ほか中堅の進出 [昭和31・4東横ホール]	劇評	仁村美津夫		幕間	昭和31・5	和敬書店
安にして良の芝居 [昭和31・4大阪中座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和31・5	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
松竹演劇塾研究公演の印象 [昭和31・4大阪中座]	劇評	高安六郎 山口広一 北岸佑吉 沼艸雨 郷田恵 新谷誠太郎		幕間	昭和31・6	和敬書店
「血笑記」の量感 [昭和32・4歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和32・5	演劇出版社
各人各説の歌舞伎座 [昭和32・4歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		劇評	昭和32・5	「劇評」社
幕間随想 初めての紙治〔お園〕	芸談		《3》中村時蔵	幕間	昭和32・5	和敬書店
狂言九つ [昭和32・4歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和32・5	和敬書店
鼎談劇評 五月の歌舞伎を観て [昭和33・5明治座]	劇評	浜村米蔵 戸板康二 利倉幸一		演劇界	昭和33・6	演劇出版社
明治座で感じたこと [昭和33・5明治座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和33・6	演劇出版社
盛綱と新三 [昭和33・5明治座]	劇評	戸部銀作		劇評	昭和33・6	「劇評」社
幕間随想 二つの初役〔六助〕	芸談		《8》市川中車	幕間	昭和33・6	和敬書店
幕間随想 明治座の楽屋で〔お園〕	芸談		《7》大谷友右衛門	幕間	昭和33・6	和敬書店
勘三郎と幸四郎 [昭和33・5明治座]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和33・6	和敬書店
やさしい名作の味わい方 彦山権現誓助剣	鑑賞	藤田洋		演劇界	昭和36・2	演劇出版社
初春の歌舞伎座 [昭和36・1歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和36・2	演劇出版社
幕間随想 六助のこと	芸談		《8》松本幸四郎	幕間	昭和36・2	和敬書店
寿海と勘三郎が優秀 [昭和36・1歌舞伎座]	劇評	渡辺義三郎		幕間	昭和36・2	和敬書店
彦山権現誓助剣	解説	大村弘毅		『演劇百科大事典』	第四巻	昭和36年3月 平凡社 早稲田大学演劇博物館／編
権十郎・訥升の活躍 [昭和42・2東横ホール]	劇評	田中志保子		演劇界	昭和42・3	演劇出版社
国立劇場上演狂言風俗備要抄 「彦山権現誓助剣」関係	研究	長田午狂／編		国立劇場上演狂言風俗備要抄 「彦山権現誓助剣」関係		昭和42年9月 国立劇場芸能調査室 ※語彙解釈一覧。
演出のことは 歌舞伎の将来への試金石	演出	戸部銀作		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部
「彦山」の脚本	演出	山田庄一		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
歌舞伎の黒砂糖の味	鑑賞	戸板康二		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部
女性と武道	鑑賞	加賀淳子		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部
明日を担う人たち	鑑賞	藤田洋		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部
河内家の六助	鑑賞	中村貞以		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部
文楽でも珍ずらしい『彦山』の通し	鑑賞	大鋸時生		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部
仇討狂言と旅	鑑賞	岸井良衛		国立劇場第九回歌舞伎公演 解説書	昭和42・10	国立劇場事業部
珍しい「彦山」の通し [昭和42・10国立劇場]	劇評	如月青子		演劇界	昭和42・11	演劇出版社
少数精鋭の一座 [昭和43・2大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
芸本位の芝居のむづかしさ [昭和46・1歌舞伎座]	劇評	河竹登志夫		演劇界	昭和46・2	演劇出版社
歌右衛門の大阪顔見世 [昭和46・5大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和46・6	演劇出版社
勘三郎初役の宗吾 [昭和49・2新橋演舞場]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和49・3	演劇出版社
秋の顔見世所見 [昭和49・10名古屋御園座]	劇評	鷺見房子		演劇界	昭和49・11	演劇出版社
南座顔見世観劇 [昭和49・11京都南座]	劇評	依田義賢		演劇界	昭和50・1	演劇出版社
かさね、お光、お園 [昭和50・4歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和50・5	演劇出版社
毛谷村〔六助〕	芸談	《13》片岡仁 左衛門		『役者七十年』		昭和51年12月 朝日新聞社
〔毛谷村〕	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎鑑賞』		昭和53年3月 私家版
萎縮と気合い [昭和53・8国立劇場小劇場]	劇評	玉垣凧和三		演劇界	昭和53・9	演劇出版社
”曇のち雨のち夕映” [昭和53・9新橋演舞場]	劇評	如月青子		演劇界	昭和53・10	演劇出版社
菊十郎や吉五郎ら [昭和55・2歌舞伎座]	劇評	武智鉄二		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
私観・歌舞伎の中の朝鮮 1 「彦山権現誓助剣」の木曾官と六助	研究	角田豊正		季刊三千里	第26号	昭和56年5月 三千里社
初芝居のよさ [昭和57・1歌舞伎座]	劇評	小野英一		演劇界	昭和57・2	演劇出版社
毛谷村＝彦山権現誓助剣	解説	渡辺保		『歌舞伎手帖』		昭和57年7月 駈々堂出版
補綴・監修のことば 「彦山権現誓助剣」について	演出	郡司正勝		国立劇場第一一七回歌舞伎 公演解説書	昭和57・11	国立劇場事業部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
楽しみな「毛谷村」	鑑賞	大鋸時生		国立劇場第一一七回歌舞伎公演解説書	昭和57・11	国立劇場事業部
徹塵流と八重垣流と 心意伝承としての剣豪たち	鑑賞	上原輝男		国立劇場第一一七回歌舞伎公演解説書	昭和57・11	国立劇場事業部
時代狂言と松羽目の代表作 [昭和57・11国立劇場]	劇評	政田一善		演劇界	昭和57・12	演劇出版社
彦山権現誓助剣	解説	戸部銀作		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
芝居にはバランスが大切です [昭和59・11京都南座]	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和60・1	演劇出版社
義太夫三つと新作 [昭和60・1歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和60・2	演劇出版社
〔毛谷村 六助〕	芸談	山田庄一／ききて	《13》片岡仁左衛門	『十三代目片岡仁左衛門にきく 松島屋芝居ばなし 歌舞伎の型』		昭和60年3月 国立劇場
イキはいいがもうイキ [昭和61・9歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和61・10	演劇出版社
肩がこらず安っぽくもなく [平成2・1歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	平成2・2	演劇出版社
彦山と毛谷村六助	鑑賞	目加田誠		国立劇場第一六〇回歌舞伎公演解説書	平成2・4	国立劇場
女武道瞥見 「毛谷村」のお園など	鑑賞	浜村道哉		国立劇場第一六〇回歌舞伎公演解説書	平成2・4	国立劇場
播磨屋芸風の復活 [平成2・4国立劇場小劇場]	劇評	上総英郎		演劇界	平成2・5	演劇出版社
「乳房榎」の継承 [平成3・7大阪中座]	劇評	北川忠彦		演劇界	平成3・8	演劇出版社
案じる事や期待する事 [平成3・12歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	平成4・1	演劇出版社
小じんまりした襲名公演 [平成4・10名古屋御園座]	劇評	野村喬		演劇界	平成4・11	演劇出版社
主演四人の実力をみせた舞台 [平成5・6歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成5・6	演劇出版社
適役揃いの初日の「毛谷村」 [平成5・7国立劇場]	劇評	上総英郎		演劇界	平成5・8	演劇出版社
明智光秀の残党	研究	崔官		『文禄・慶長の役（壬辰・丁酉倭乱）文学に刻まれた戦争』		平成6年7月 講談社
豪傑毛谷村六助	研究	崔官		『文禄・慶長の役（壬辰・丁酉倭乱）文学に刻まれた戦争』		平成6年7月 講談社
毛谷村 お園と六助	研究	古井戸秀夫		国立劇場第一九〇回歌舞伎公演解説書	平成6・12	日本芸術文化振興会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
毛谷村六助と英彦山	鑑賞	岩本教之		国立劇場第一九〇回歌舞伎公演解説書	平成6・12	日本芸術文化振興会
役揃いの「毛谷村」 [平成6・12国立劇場]	劇評	水落潔		演劇界	平成7・1	演劇出版社
木曾官に関する文芸作品／明智光秀の残党との関わり『彦山権現誓助剣』	研究	崔官		『壬辰倭乱と日本の近世文学』		平成7年3月 東京大学
朝鮮の妓生と日本の豪傑／義妓論介／豪傑毛谷村六助	研究	崔官		『壬辰倭乱と日本の近世文学』		平成7年3月 東京大学
特集 若手花形夢の競演 上方勢の「彦山権現」	鑑賞	水落潔		演劇界	平成7・4	演劇出版社
「彦山権現誓助剣」論 毛谷村六助と論介	研究	田畑博子		国文学 解釈と鑑賞	平成8・5	至文堂
男を不意に襲う女のエロス [平成9・1歌舞伎座]	劇評	天野道映		演劇界	平成9・2	演劇出版社
北とぴあのほどよい三時間 [平成9・7地方公演]	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成9・8	演劇出版社
柿色の巡業 [平成9・11地方公演]	劇評	亀井五郎		演劇界	平成9・12	演劇出版社
梅の香りがほしい [平成10・2NHKホール]	劇評	津金規雄		演劇界	平成10・4	演劇出版社
お園「彦山権現誓助剣 毛谷村」	芸談		《4》中村雀右衛門	『女形無限』		平成10年3月 白水社
初役揃いの二本立て [平成10・6三越劇場]	劇評	津金規雄		演劇界	平成10・7	演劇出版社
毛谷村六助 毛谷村	鑑賞	《2》中村吉右衛門／監修 おくだ健太郎／文		『中村吉右衛門の歌舞伎ワールド』		平成10年12月 小学館
大阪に戻ってきた歌舞伎 [平成11・1大阪松竹座]	劇評	廓正子		演劇界	平成11・2	演劇出版社
特集 わたしの歌舞伎再見 「彦山権現誓助剣」	鑑賞	橋本治		演劇界	平成11・8	演劇出版社
博多の仁左衛門襲名 [平成12・2福岡博多座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成12・4	演劇出版社
若いエネルギー、さわやかな風 [平成13・1地方公演]	劇評	亀岡典子		演劇界	平成13・5	演劇出版社
色変えぬ松 [平成14・10名古屋御園座]	劇評	木本公世		演劇界	平成14・12	演劇出版社
脚本のことば 前回「彦山」のころ	演出	山田庄一		国立劇場第二三二回歌舞伎公演解説書	平成14・12	日本芸術文化振興会
演出のことば 再演・「彦山」の通し 五十五年の歲月	演出	戸部銀作		国立劇場第二三二回歌舞伎公演解説書	平成14・12	日本芸術文化振興会
作品研究 「毛谷村」上演史をさかのぼる	研究	児玉竜一		国立劇場第二三二回歌舞伎公演解説書	平成14・12	日本芸術文化振興会
『五輪書』から見た武蔵像と、六助	鑑賞	寺山旦中		国立劇場第二三二回歌舞伎公演解説書	平成14・12	日本芸術文化振興会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
仇討ち特集 3 仇討ちの芝居 日本と中国	鑑賞	金文京		国立劇場第二三二回歌舞伎 公演解説書	平成14・12	日本芸術文化振興会
五十五年目の下駄の音 [平成14・12国立劇場]	劇評	大岩精二		演劇界	平成15・2	演劇出版社
芸の格、芸の寸法 [平成15・9歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成15・11	演劇出版社
初役と当り役で見せる [平成16・2歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成16・4	演劇出版社
巡る春の海老蔵 [平成17・1新橋演舞場]	劇評	上村以和於		演劇界	平成17・3	演劇出版社
桜花のこんぴら歌舞伎 [平成17・4香川金丸座]	劇評	河村常雄		演劇界	平成17・7	演劇出版社
お菊／お幸／お園／斧右衛門／京極内匠／毛 谷村六助／友平／弥三松／吉岡一味斎	解説	古井戸秀夫		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
六助の懐 [平成18・7国立劇場]	劇評	木本公世		演劇界	平成18・9	演劇出版社
團十郎の荒事と藤十郎の和事 [平成19・1大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成19・3	演劇出版社
演舞場の初夏の顔 [平成20・5新橋演舞場]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成20・7	演劇出版社
毛谷村六助	解説	吉澤英明		『講談作品事典』		平成20年10月 「講談作品事典」刊行会
大顔合わせの「先代萩」 [平成21・4歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成21・6	演劇出版社
意義のある通し上演 [平成23・2大阪松竹座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成23・4	演劇出版社
顔合わせの充実 [平成24・6福岡博多座]	劇評	坂東亜矢子		演劇界	平成24・8	演劇出版社
海老蔵、十四年ぶりの浅草 [平成25・1浅草公会堂]	劇評	犬丸治		演劇界	平成25・3	演劇出版社
初役と初顔合わせの楽しさ [平成27・2歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成27・4	演劇出版社
「不知火検校」、再び [平成28・4歌舞伎座]	劇評	犬丸治		演劇界	平成28・6	演劇出版社
「毛谷村」 延若の六助、梅玉のお園	鑑賞	山田庄一 渡辺保		『二人の名優 二代目実川延 若と三代目中村梅玉』		平成28年12月 演劇出版社
芝翫親子の情と気迫 [平成29・6福岡博多座]	劇評	亀岡典子		演劇界	平成29・8	演劇出版社
十年を数えた秀山祭 [平成29・9歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成29・11	演劇出版社
「毛谷村」の伝説と思い出	鑑賞	神山彰		国立劇場第三二〇回歌舞伎 公演解説書	令和2・11	日本芸術文化振興会
思い出の舞台	鑑賞			国立劇場第三二〇回歌舞伎 公演解説書	令和2・11	日本芸術文化振興会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
資料展示室	鑑賞	渡邊晃／構成・解説		国立劇場第三〇回歌舞伎公演解説書	令和2・11	日本芸術文化振興会
俊寛と六助 [令和2・11国立劇場]	劇評	児玉竜一		演劇界	令和3・1	演劇出版社